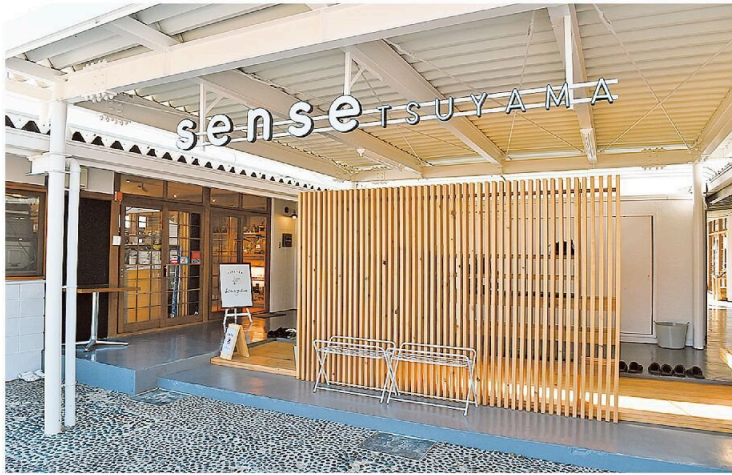


学生らの感覚で園舎再生



旧東幼稚園を改装した「sense TSUYAMA」

市景観賞

魅力的な景観を生み出している建築物や市民活動をたたえる2021年度津山市景観賞の建築物部門に複合施設「sense TSUYAMA」(林田)、景観活動部門に喬松小(坪井上)と地元住民が取り組む「喬松小地域を明るくしようプロジェクト」が選ばれた。(小林貴之)

複合施設は2019段階から県立大デザイン3月末で閉園した旧ン学部の学生や地域住東幼稚園を改装。構想 民らが携わり、カフェ

景観活動 喬松小 明るくプロジェクト

住民と協力 寺院に電飾



や雑貨店などが入居し、ルミネーションで装飾。通学路に老人クラブと花を植える活動も展開している。地域一感覚を取り入れて再生体の活動が認められた。受賞は地域の協力ののおかげ」としている。

喬松小のプロジェクトは地域を盛り上げるヒトトゴハン(真庭)の沼本吉生社長力して20年から地元(41)は「改装を通じての寺院を発光ダイオード(LED)などのイジでできる場を目指し

複合施設を運営し、出張料理事業も手掛け

次点の奨励賞は20年3月に復元修理された「津山松平家老犬熊屋敷長屋門」(田町)が建築物部門、地区内の美化活動などに取り組む佐良山住民自治協議会の「来て見んちやい 佐良山へ」が景観活動部門で選ばれた。

喬松小児童と住民が設置したイルミネーション  
昨年12月1日  
表彰している。

市が昨年7〜8月に候補を募り、全6件から市民投票と市景観審議会の審査で決定。表彰は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。看板やのれんなどの広告物部門は応募がなかった。

景観賞は市が16年に施行した景観条例に合わせて創設し、年1回表彰している。